

民衆の声  
ボイス

公明党 横浜市会ニュース

# VOICEよこはま

公明党横浜市会議員団 〒231-0017 横浜市中区港町1-1 TEL 671-3023 FAX 681-2060 <http://www.yhkomei.com/> E-mail:shikai@yhkomei.com

## 市民生活の安心・安定と地域経済の活性化を！ 平成26年度 横浜市予算要望書を提出

公明党横浜市会議員団は10月21日、平成26年度予算編成に対する要望書を林文子横浜市長に提出しました。

要望書は、最重点要望106、重点要望122、各区重点要望73の計301項目で構成されています。具体的な項目として、防災・減災対策では、全児童・生徒への携帯型ヘルメットの支給や突風・竜巻など風害に対する対応、地域防災拠点の受水槽や消火栓の活用による災害時の飲料水確保などを要望しました。

その他、中学校昼食の充実のためスクールランチの導入、高齢社会の安心として孤立を防ぐ事業の拡充や介護人材の確保に対する取り組みなどを要望しました。

席上、加藤団長は、市民が景気回復の実感が持てない中で、明年は消費税率引き上げなどによる負担増があることから、本市でも低所得者などに配慮した施策を開するよう要請しました。

これに対し林市長は、市民の視点に沿った要望をいただいたとの認識を示し、市会と力を結集して、施策に反映させていきたいと応じました。



林市長に要望書を提出する公明党横浜市会議員団

### 五大市政研究会で活発に意見交換

名古屋、京都、大阪、神戸の公明党議員による、第21回「五大市政研究会」が8月、神戸市内で開催されました。

今回は、大都市共通の政策課題である「災害時要援護者支援対策」と「待機児童対策」について、各市からの実例報告とともに、意見交換が行われました。

特に待機児童ゼロを達成した横浜市の取り組みへの関心は高く、国の待機



児童解消加速化プランの展開により、今後横浜方式が全国的に拡がって行くことが期待されています。

※横浜方式：横浜保育室の整備や保育コシンエルジューの配置、株式会社が運営する認可保育所の拡大など、横浜市が行った待機児童対策のこと。



## 議案関連質疑

### 特別避難場所に太陽光発電設備・蓄電池の設置

横浜市では、地域防災拠点の中でも小学校の体育館などで過ごすことが困難な方を、地域ケアプラザなどの特別避難場所で受け入れる態勢を整えています。公設の特別避難場所の中から各区2カ所に太陽光発電設備と蓄電池を設置することについて、設置箇所の選定の考え方を質問しました。

市長は、地理的なバランスや、配置スペースなどの施設環境を考慮しながら、区役所などの意見を踏まえ決定していきたいと答えました。加えて、設置した非常用電源の確実な運用のために、地域の方々との連携を生かした実地訓練の実施を求めました。



公明党横浜市会議員団  
副団長

## 高橋 正治

# 平成25年第3回定例会の論戦から

について、子どもたちの学びの場であり地域コミュニティの核である学校の在り方の議論の際に、これまで地域の代表が意見を集約してきた「懇談会」は今後も存続するのか質問しました。

教育長は、附属機関のもとに「部会」を設置し、地域代表の話合いの場とすると答えました。加えて、市立学校のあり方は市の将来像に係るものであり、今後、全市的な議論の場を設けるべきと訴えました。

### 一般質問

#### 市立中学校昼食へスクールランチの導入を

市立中学校における昼食のあり方について、食育の観点と女性の社会進出など変化する社会情勢への対応の観点から、家庭弁当との選択制で、栄養バランスのとれた複数のメニューから選べる「スクールランチ」を導入すべきと提案しました。

市長は、スクールランチも選択肢の一つであり、栄養バランスがどれ、メニューや量を選べるデリバリー弁当方式や近隣小学校の調理室を利用したランチの提供が可能かも含めて検討していくと答えました。

#### 内水ハザードマップを活用した浸水対策

市立小中学校の適正規模や通学区域について議論する「附属機関」を新たに設置する条例案に用いた「内水ハザードマップ」を今後どのように浸水対策に活かしていくのか質問しました。市長は、浸水が予測される地域の皆様が、土のうを用意するなど、日頃からの備えをしていた

だくことや、内水ハザードマップのシミュレーションモデルを活用することで、浸水の恐れのある箇所を予測し、事前に対応することが可能となるので、今後の浸水対策計画に活かし、集中豪雨などに強いまちづくりを目指していくと答えました。

### 平成24年度決算特別委員会・総合審査

#### 踏切の安全対策について

10月に発生した緑区内の踏切での事故を受け、これまでの川和踏切の拡幅、歩道設置などの安全対策については一定の評価をするものの、事故を無くすためには、川和踏切を除却し早急に抜本的な対策を講ずるべきと訴えました。市長は、川和踏切は都市計画道路中山北山田線の一部となっており、川和踏切周辺の600メートルについて、踏切部の立体交差化や残りの未整備区間の早期の事業化について検討していくと答えました。

#### 国民健康保険料の算定方式の変更について

平成25年度から国民健康保険料の算定方式が、市民税額から所得金額を基準に計算する方法に変更されました。これに伴い、保険料が増加する世帯も多く生じる事を想定し市として対策を講じてきましたが、想定以上に保険料が増額した加入者からの相談を踏まえ、こうした世帯に対し対策を講じるべきと訴えました。健康福祉局長は、大幅に保険料が増額した世帯の状況確認をさらに進める中で、平成26年度に対応が必要かどうか検討すると答えました。

## 市民相談

お気軽に何でも  
ご相談下さい

横浜市会議員（緑区選出）  
**高橋まさはる**

電話：929-5305 FAX：931-8798  
<http://www.masaharu.info/>  
〒226-0011 横浜市緑区中山町 320-5

